

学び続ける生徒を目指して

～問題発見力・課題解決力・情報活用力を伸ばすために～

【設定理由】

2021年度から新学習指導要領が全面実施されるため、本年度は移行期間最後の1年間となる。そこで、新しく生徒に求められるのは、現代社会がもつ多様性に対応でき、課題に向かい乗り越えていく力である。そのためには、自分を客観視でき、人とつながり、自ら学ぶ姿勢が必要である。それは、新指導要領が目指す「学び続ける力」につながると考える。

現段階で求められるのは、「学び続ける力」の基盤となる問題発見力・課題解決力・情報活用力と考え研究主題とした。

1. 生徒の実態から

何事にもまじめに取り組み、与えられたことをやり抜く力がある。その一方、小規模校の特徴でもある「変わらない人間関係」と「社会経験の少なさ」「受動的な活動」が課題と感じる。

全校での取り組みだけでなく、地域や外部との連携や様々な情報提供、自主的に物事を動かす機会などが上記の課題を解決していく手立てになるのではないだろうか。またその取り組みは、生徒が「知的好奇心」をもてるような経験となることで、新指導要領で謳われている「学び続ける力」につながっていくと考える。それは教科だけでなく、様々な教育活動の中で育まれるものでもある。

2. 昨年度までの研修から

昨年度までの2年間でみえた課題は、他者の考えを聞き、自ら深め、考えをまとめる力と、他者の意見を認め深め活かす力が弱いことである。また成果としてインプット（新しい知識の習得）、アウトプット（表現活動の充実）を意識した授業構成から、個人差はあるがその力はある程度身につけていると評価できる。

今年度は、成果として得た力を継続し授業構成をしつつ、家庭や地域・社会などと連携し経験があまりない価値観を学ぶ機会を、意図的に組み込む工夫が必要であると考え。また、そのような工夫をすることで、自分を客観視でき、人とつながりをもつ機会にもなる。そこには他者を認める「思いやり」がなければ、上記課題である力を育てる事にはならないと考える。

さらに、経験のない価値観を学ぶことで、自発的に問題を発見し、課題解決にむけ、得た情報を活用・発信し、自ら学ぶ姿勢へと発展できると考える。

加えて、昨年に引き続き私たち教師がPlan（計画）・Do（実行）・Check（振り返り）・Action（改善）のサイクルを活かすことで、より効果的に生徒の「知的好奇心」を刺激でき、生徒の学びに向き合うことでより質の高い授業改善ができると考えた。

3. 研究仮説

1 年次（2020 年度）：問題発見力・課題解決力・情報活用力を意識した授業研修

生徒の問題発見・課題解決・情報活用する力を高めることで、「知的な好奇心」を刺激し新しい価値観や広い視野を持つ、またそれができると、自ら学ぼうとする姿勢が育まれると考える。

本年度は、問題発見・課題解決・情報活用する事をポイントにおいた授業を工夫、考案する機会とし、それを交流することで、多角的なアイデアや改善点が見えてくると考える。3つのポイントについては、学年の実態や教科の特性が違うことを踏まえ、各教科や担当の考えをもって授業に取り入れていくこととする。また次年度の授業実践に向けて研修を進める。

生徒の「知的な好奇心」を刺激する工夫された授業は、新指導要領の求める「学び続ける力」につながり、さらには家庭学習への意欲にもつながると考える。

2 年次（2021 年度）：問題発見力・課題解決力・情報活用力を意識した授業実践

4. 実践計画

【具体的内容】

- ・問題発見力・課題解決力・情報活用力を意識した授業研修（授業のアイデア・構成・略案など）
- ・1人1授業交流（各教科8月から実施、できるだけ多くの参観、相互の感想用紙の活用）
- ・生徒アンケート（12月に教科ごとに実施）
- ・小中授業交流（年間小学校1回中学校1回、事後研を可能な範囲で行う）※他の授業も案内する
- ・新指導要領改訂に基づいた評価研修（教務部と連携）
- ・校外研修への積極的参加と還元活動

【研修計画】 計9回

月 日	曜	研 修 内 容	備 考
4/27	月	・研修概要提案、確認	職員室
6/29	月	・1人1授業交流の提案 ※・新指導要領の資料提示	職員室
7/13	月	・授業研修（アイデア、構成案、略案について）	家庭科室
8/		※夏季休業中に授業略案を検討 ・1人1授業開始	
9/14	月	・授業略案の交流 ※・新指導要領の資料提示	家庭科室
10/12	月	・新指導要領について ・生徒アンケートの提案	職員室
11/16	月	・中学校授業交流（修学旅行報告会か職場体験報告会）	未定
12/7	月	・小学校授業交流について（14日の6年生授業） ・校内研アンケート提案	職員室
1/18	月	・評価研修（教務部）	職員室
2/15	月	・今年度のまとめ、来年度の確認	職員室

研究の全体構造図

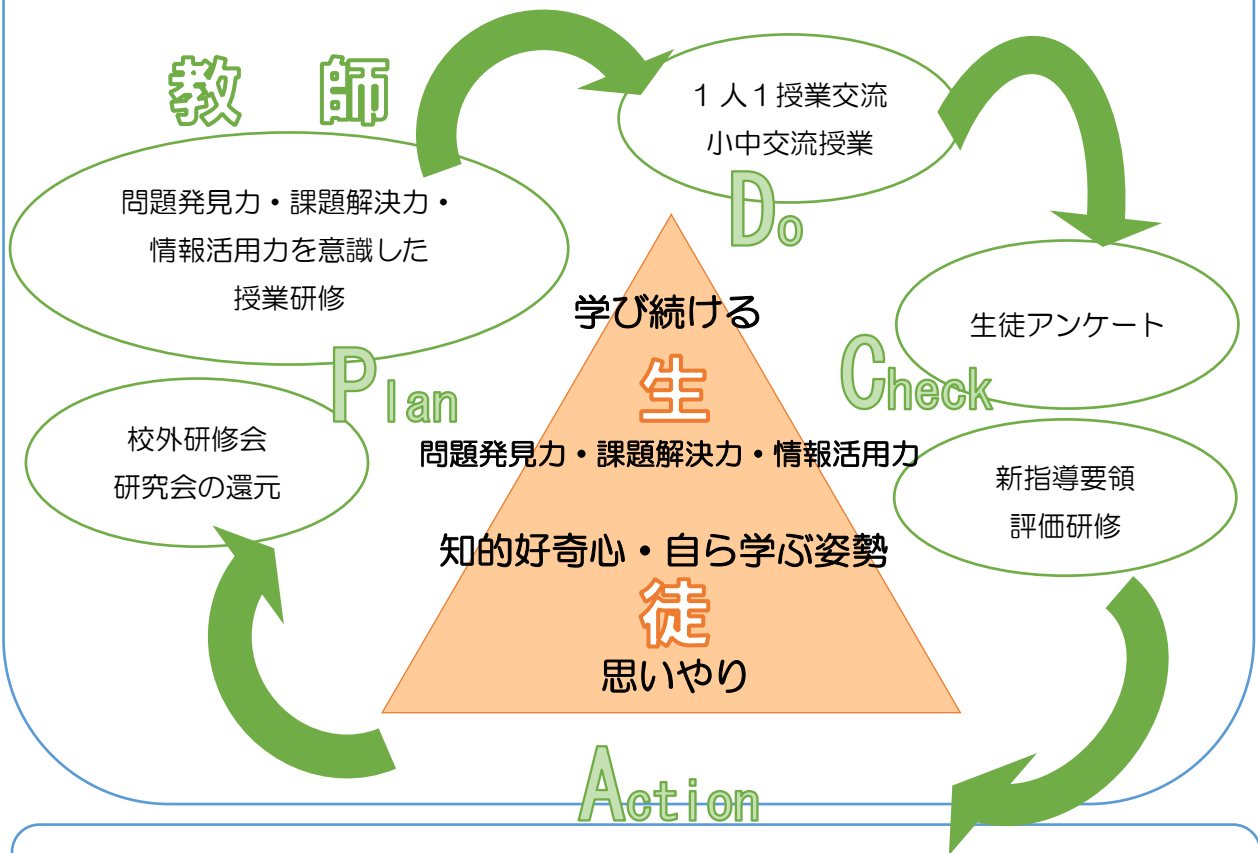
学校教育目標
心豊かでたくましい生徒

めざす生徒像
○自ら学ぶ生徒 ○思いやりのある生徒 ○強くとくましい生徒

研究主題
学び続ける生徒を目指して
～問題発見力・課題解決力・情報活用力を伸ばすために～

研究仮説1 1年次(2020年度)

問題発見力・課題解決力・情報活用力を意識した授業研修



研究仮説2 2年次(2021年度)

問題発見力・課題解決力・情報活用力を意識した授業実践